

## 切れ目ないケアを

### 民 衛 子育て支援

子どもが健やかに生まれ育つための環境づくりの整備を図り、妊産婦健康診査、産後ケアなど妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を担う、子育て世代包括支援センターのより一層の充実を図ります。



## 無料対象を拡充

### 衛 子ども医療費

現在、医療機関窓口での保険給付に係る一部負担金を支払わずにすむ制度を、住民税非課税世帯の未就学児から高校生までに拡充します。これにより経済的理由による医療受診控えを防ぎ、疾病の早期発見、早期治療につなげます。



## ずっとお元気で

### 民 高齢者福祉

住み慣れた地域において安心して暮らせる支援策として、配食サービス、介護手当および介護用品支給事業を継続して実施します。また、生きがい・やりがいづくり支援として、老人クラブの育成を図ります。



## 大崎ファンを創出

### 商 ふるさと納税

約50億円の寄附を記録し、大崎町の大きな財源となったふるさと納税。今後も魅力ある返礼品の開発に努めながら、趣旨に合ったふるさと納税寄附の充実を図り、「地域を応援したい」という寄附者の意思に応えられるよう努めます。



## オリ・パラ開催に向けて

### 総 ホストタウン事業

東京オリンピック・パラリンピック開催が2021年に延期されたことに伴い、町と事前合宿に関する協定を締結した台湾とトリニダード・トバゴ共和国の選手らが最高のパフォーマンスを発揮できるよう全力でサポートします。



## 陸上競技の聖地へ

### 商 陸上大会の開催

陸上競技の聖地実現に向けて、室内陸上大会「ジャパン アスリートゲームズ イン オオサキ」を引き続き今年度も開催するため「陸上競技の聖地創り実行委員会補助金」を計上。陸上合宿誘致活動も視野に継続的な開催を目指します。



## 地域の活性化

### 教 社会教育の充実

町中央公民館を地域活動の拠点と捉え、地域に開かれた施設としての有効活用を図ります。そして地域学校協働活動事業の実施ならびに各公民館と連携しながら、地域の活性化や社会教育の充実を図るために、家庭教育の推進、青少年の健全育成の推進に努めます。



## タブレットを導入

### 教 ICT教育の推進

各学校において、タブレット端末を児童・生徒に配布するなどICT環境の整備に伴い、昨年に引き続きICT支援員を配置。ICT教育が円滑に進められるよう機器の操作支援や機器のメンテナンスおよびトラブル対応等を行う体制を整えます。



## 生命と財産を守る

### 消 消防・防災対策

今年度は持留分団の小型動力ポンプ積載車を更新するとともに町内2箇所に防火水槽を新設。津波浸水区域や土砂災害警戒区域、防災に関する情報などを掲載した総合的な防災マップを作成し、安全・安心を守る取組みを進めます。



事業名左横の囲み文字は7ページの歳出費目の頭文字を表しています。例：総は総務費、衛は衛生費など